

感染症の予防及びまん延の 防止のための事業所マニュアル

合同会社 Ohana

放課後等デイサービス Pilina

感染症予防（利用者・職員）

※厚生労働省障害保健福祉部 通所系 障害福祉サービス
施設・事業所職員のための感染対策マニュアル 参照

○日頃の検温、健康チェック

- ・来所時等（乗車時、退所時）に検温
- ・検温を行った際には記録を残す
- ・健康チェックシートの活用

●健康チェックシート（20 / / ）（ : ）

1. 体温 _____℃

2. いつもと違う症状がある場合に☑チェックを入れてください

- 食欲がない せきが出る 息苦しさがある 身体のだるさ
 のどの痛み においや味が分からない その他

○マスクの着用

- ・車内や在所時にマスクの着用を促す（子どもの特性に合わせて対応）

○手洗い

石鹸を2～3ml手に取り、良く泡立てながら爪、指の間、親指、手首を意識して60秒間もみ洗いし、15秒間流水で流す。止める時は手首か肘、ペーパータオルを使う。

- ・手洗いを正しい方法で行う
- ・来所時、トイレ、食事の前後で手洗いの徹底

○手指消毒

消毒を約3ml（ワンプッシュ）手に取り、爪、指の間、親指、手首に擦り込む。

- ・手指消毒を正しい方法で行う
- ・来所時、トイレ、食事の前後で手指消毒の徹底

○咳エチケット

- ・せき、くしゃみ際にはマスクの着用、ハンカチやティッシュ等で口と鼻を覆う
- ・ハンカチやティッシュ等がない場合は、上着（肘）の内側で口と鼻を覆う

○訪問者の記録

- ・事業所内に訪問した人の記録を行う（別紙資料付属）

感染症予防（職員）

○基礎知識

- ・ 1.病原体の排除 2.感染経路の遮断 3.宿主の抵抗力の向上を念頭に置き、対応する
- ・ 定期的（年に2回）に研修、訓練を実施

○健康管理

- ・ マスクの着用
- ・ ケア前後の手洗い、1ケア1手洗い、
- ・ 睡眠や栄養を取り、抵抗力の向上
- ・ 予防接種の推奨

○環境の管理

①施設

- ・ 密集、密閉、密接を避ける
- ・ 清掃、消毒、換気の徹底

②職員

- ・ 職員の体調不良時は医療機関への受診を推奨
- ・ 休暇を取得しやすい環境設定
- ・ 相談をしやすい体制の確立
- ・ 家族に感染症状、または疑いがある場合には施設長（蚊野じ）に報告、相談
- ・ 食事の際には座る位置に配慮し、会話を控える

○消毒液の使用方法

- ・ 利用者が使用するもの（おもちゃ、ドアノブ、トイレ等）こまめに消毒
- ・ 消毒には消毒用エタノール、次亜塩素酸ナトリウム液を使用

☆次亜塩素酸ナトリウムの希釈方法

- ・ 食器漬け置き、平常時の清掃→500mlのペットボトルにキャップ1杯（0.05%濃度）
- ・ 衣類の漬け置き、汚物等の処理清掃→500mlのペットボトルにキャップ2杯（0.1%濃度）

○个人防护具の着脱の仕方

【着（居室の外）】

消毒、マスク→エプロン等→ゴーグル・フェイスシールド→キャップ→手袋、消毒の順
全てつけ終わったら露出がないか鏡や他者の点検

【脱（居室の内）】

手袋→消毒→エプロン等→キャップ→ゴーグル・フェイスシールド、消毒の順
外したらふた付きのごみ箱へ（个人防护具の表面には触れない）

対応方法

※対応方法の相談ダイヤル（# 7 1 1 9）

○発熱



緊急時

感染症（集団感染）が疑われる場合には福岡市へ連絡・報告（指示を仰ぐ）

○血液・体液・分泌物・嘔吐物・排泄物処理



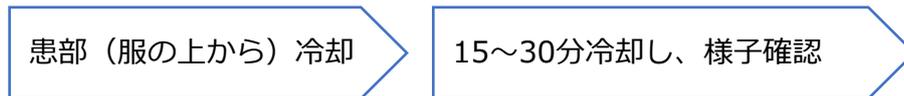
○擦り傷・切り傷



緊急時

病院・保護者へ連絡

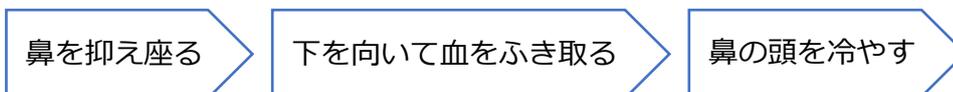
○やけど



緊急時

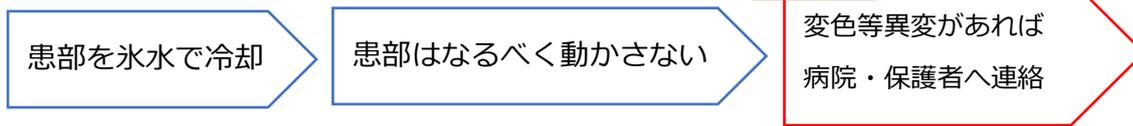
病院・保護者へ連絡

○鼻血



※ティッシュは詰めない

○打撲



○かみつき

